

## <レフェリング 豆知識>



よく見る光景ですね！

雰囲気から、PKを主審がとり、守備側競技者が主審に、本当にPKかと訴えています。

主審は、自分の下した決定を変えることはない雰囲気です。

どういう事象だったのでしょうか？

右サイドからセンターリングされたボールは、選手の誰にも触れず、ゴールラインから出るところです。

赤矢印の先に、ボールがあります。

ゴールライン後方にいる、白い服を着ているのは、守備側チームの交代要員です。GKにボールを戻そうと、どうやらゴールラインから完全に超える前に、ボールに触ったみたいです。

ご覧のように、主審はPKを攻撃側チームに与えています。

*あなたならどのように判断しますか？*

正しい判定と、適切な判断をどう考えるかです。

## ◇競技規則 p17

サッカーの競技規則は、他のチームスポーツのものと比べると比較的単純である。しかしながら、多くの状況において「主観的な」判断を必要とする。審判は人間であるため（それゆえ、間違いも犯す）、必然的にいくつかの判定が論争や議論を引き起こすことになる。ときに、議論はサッカーの楽しみや魅力の一部となる。しかし、**判定が正しかろうと間違っていようと、競技の「精神」は、審判の判定が常にリスペクトされるべきものであることを求めている。**

競技規則は発生し得るであろうすべての状況に対して言及することはできないので、具体的事象についての規定はない。IFABは、審判が競技の「精神」に基づき判定を下すよう求めている。これにより、しばしば「**サッカーは何を求めているのか、何を期待しているのか**」といった質問を投げかけられる。

## <競技規則テスト問題> 今後、毎回実施します!!

- 問1. アドバンテージの適用は主審の判断に任されているが、考慮する項目の一つである「試合の状況（雰囲気）」とはどういうことなのか具体的に4つ挙げなさい。
- 問2. 主審がアディショナルタイムを5分取り、2分（ランニングタイム92分）が経過したときにGKが負傷し、治療が完了するまでに4分かかった。主審は、試合再開後、何分後に試合終了の笛を吹くべきか。
- 問3. 「決定的な得点の機会の阻止(DOGSO)」を監視する上で、考慮しなければならない状況を4つ答えよ。
- 問4. キックオフが行われるときに、競技者の足はハーフウェーラインを踏んでいないが、上半身が相手側ハーフにせり出していた。これは自分たちのハーフ内にいるといえるか？また、その考え方を示せ。

## <報告事項>

◇地域女子担当者会議 2月7日 参加者：地域女子部長（蝦名 隆幸氏）

- 1.女子1級認定審査について、2021年の概要説明と今後の考え方
- 2.地域2級推薦研修会について、計画説明
  - ①全日本O-30女子サッカー大会 大会延期
  - ②日本クラブユース女子サッカー大会グループリーグ  
7月もしくは8月 群馬県前橋市
  - ③日本クラブユース女子サッカー大会決勝ラウンド  
7月もしくは8月 群馬県前橋市
- 3.全国大会等への割当
  - ①全日本U-15女子サッカー選手権大会  
地域から推薦
  - ②なでしこリーグ2部での主審  
・女子1級受験者
- 4.全日本大学女子連盟との連携  
大学女子サッカー地域対抗戦2021での学生スキルアップ研修会  
⇒大会中止で実施できなかった

◇2021年 第1回地域指導者部会長及び地域イントレマネジャー合同会議

3月21日（日） 13:00~16:30 参加者：指導者部長（村山尚哉氏）、イントレマネジャー（森 英樹氏）

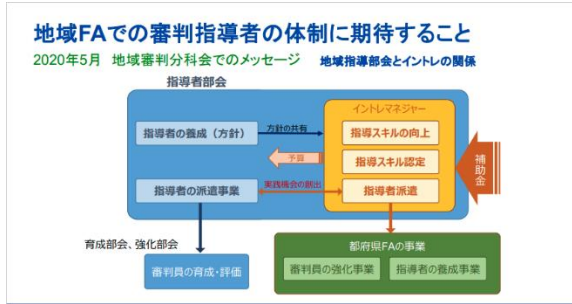
会議内容について

- アセスメント評価の手引きⅢについて
- 各地域1級INSの活動について「小さなチャレンジ、大きなチャレンジ」
- 2020年度1級INS認定3次審査のフィードバック
- スモールプラクティカルについて
- ディスカッション（3地域×3グループ）

指導者部会でのイントレ事業事例及び課題と解決策について

(イントレ受講者の審判指導の機会を明確にする)

- 各グループ発表
- まとめ



**イントレ事業の考え方<sup>(a13)</sup>**

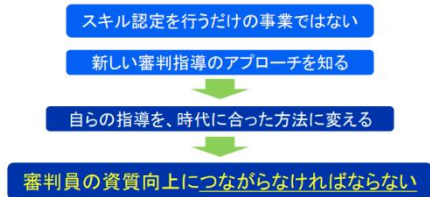
指導スキル認定の機会

No.	指導スキルのレベル	認定の機会	所掌
1	A	JFA主催スキル認定審査会A,B	JFA指導者部会
2	B+	JFA主催スキル認定審査会B+	JFA指導者部会
3	B	JFA主催スキル認定審査会A,B	JFA指導者部会
4	C+	地域FAイントレ(認定審査の機会)	地域FA(イントレ)
5	C	地域FAイントレ(認定審査の機会)	地域FA(イントレ)
6	D	都道府県FAトレセン(認定審査の機会)	地域FAから派遣された審査員

上位の認定審査の機会では、下位のスキルを認定することも可能。  
 (例えば、地域FAイントレの審査の機会で習熟度等の見極めにより、Dも認定できる)  
 「認定の機会」とは、審査会を別途開催してもよいが、審判員研修会やスキルアップ研修会など実践の場での講師(実践)をしているところを、審査員が見に行くことも含めて考えること(標準プログラム内の実践だけではない)

**イントレ事業の考え方<sup>(113)</sup>**

イントレは、何のための事業か？



<その他情報>

◇ **20/21 新1級審判員・指導者**

サッカー

瀬田 貴仁 (千葉県サッカー協会)

サッカー女子

稲葉 里美 (北海道サッカー協会)

岩本 毬花 (三重県サッカー協会)

山内 恵美 (沖縄県サッカー協会)

フットサル

柴田 濤 (秋田県サッカー協会)

審判指導者

漆畑成子 (青森県)、木口寛 (宮城県)、東城穰 (埼玉県)、真殿三加 (大阪府)

◇ **2020 シーズンで1級を退いた審判員・指導者**

サッカー

間島 宗一 (三重県サッカー協会)、東城 穰 (埼玉県サッカー協会)、

藤田 和也 (富山県サッカー協会)、権田 智久 (広島県サッカー協会)

フットサル

松井 隆 (東京都サッカー協会)、安永 陽一 (福岡県サッカー協会)

審判指導者 植村久 (東京都)、倉原英弘 (沖縄県)